

経 営 の 状 況

(28年9月末)



愛媛県信用漁業協同組合連合会

1. 事業の概況

県下の漁業環境は、依然として厳しい状況でございますが、漁業者自らが自立できるよう「浜の活力再生プラン」の策定・実践に取り組んでおり、そのなかで「プライドフィッシュプロジェクト」等により安心・安全で優れた水産物をアピールすることで、所得の向上を目指しているところでございます。

こうしたなか、本会は、会員及び会員の組合員の負託に応えるよう、「信用事業協同体(統合信漁連)」として正組合員を中心とした顧客ひとりひとりの結びつきを強化し、事業量の拡大維持を図るため、「浜の接点確保」をスローガンとした渉外活動を展開し、浜に根差した推進活動を実践しております。

また、本年度が中期経営計画(平成26年度から平成28年度)の最終年度となることから、当初計画必達のために具体的取り組み事項を再確認し、新たな気持ちでチャレンジしておりますので、今後とも一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

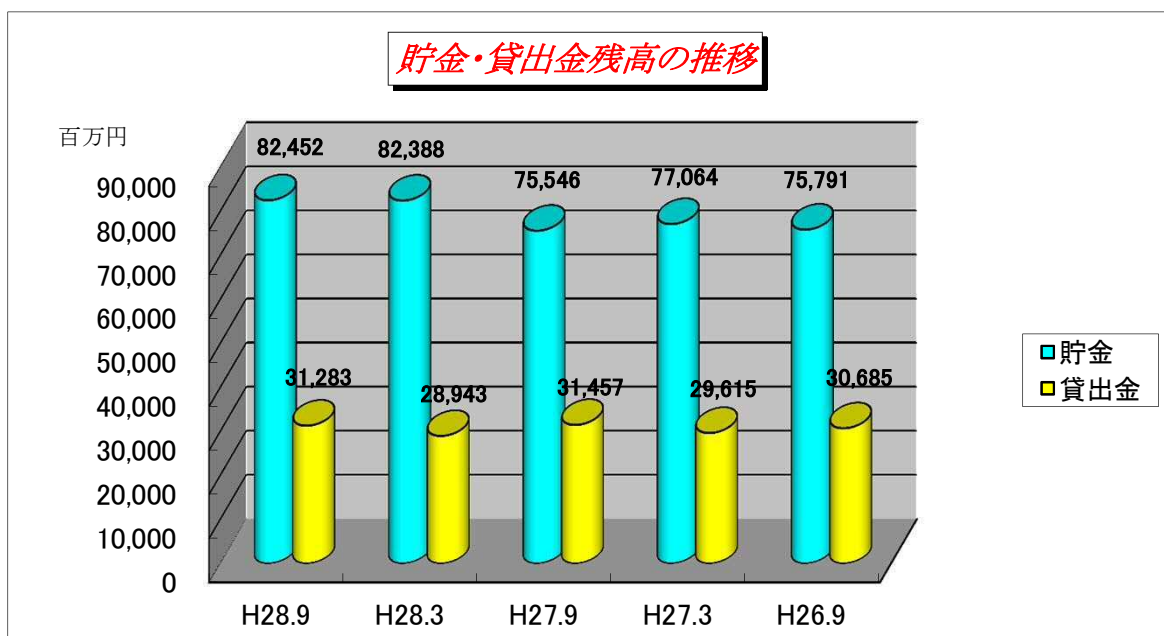
○貯金

貯金は、夏のマリンキャンペーンとして、金利0.25%と真珠製品を懸賞品とした定期性貯金の特別推進を展開しました。同時期に県内JAでも金利0.25%と先着で農産物等がプレゼントされるキャンペーンが行われ顧客が分散されたものの、18億円を獲得することができました。

平成28年9月末信漁連貯金残高は、過去のキャンペーン定期貯金満期解約等の減少要因もありましたが、系統団体の貯金協力等もあり、年度末819億円の計画に対し、825億円(達成率100.7%、前年同期比70億円増加)の実績となりました。

○貸出金

貸出金残高は、漁業近代化資金を中心とした種苗購入・育成資金及び漁船資金等を推進し、74億円の融資実績となりました。中でも昨年を3億円上回る31億円を積立ふらす・セーフティネット資金にて融資対応しましたが、平成28年9月末で312億円(前年同期比2億円減少)の実績となりました。



○財務収支

漁業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いておりますが、上半期における経常利益は55百万円、当期剰余金は40百万円を計上しております。

自己資本比率は、「バーゼルⅢ」に従った算定の結果、21.86%となり国内基準の4%及び系統内ルールに示された漁協信用事業実施要件である8%を大きく上回り、高い健全性を維持しております。

2. 事業方針

JFマリンバンク基本方針に沿った「あんしん体制」の一層の強化に向け、本会「中期経営計画」のもと県下漁協系統金融機能強化のため下記重点事項に全力で取り組んで参ります。

《 重点取組事項 》

- ① 事業推進と推進態勢の構築
- ② 経営管理体制の整備・確立
- ③ 人材育成と協同意識の高揚
- ④ 協同体組織の機能強化

(1) 事業推進と推進態勢の構築

① 共通

- ・正組合員を中心とした顧客ひとりひとりの結びつきを強化し、事業量の拡大維持を図るため、「浜の接点確保」をスローガンとした渉外活動を展開します。また、渉外専担者を設置することで、渉外体制を強化します。
- ・窓口担当者による顧客への積極的な窓口セールスと店舗周辺のアプローチ推進を行うことで、店舗窓口における推進拠点の位置付けを強化し、浜に根差した推進活動を展開します。

②貯金業務

- ・貯金については、各漁協と具体的な推進方策を協議し実践に結び付け、貯金平残目標を777億円と設定し、渉外専担者を中心としたJF役職員及び協力組織が一体となった推進活動を展開し、貯金量確保と伸長に取り組みます。
- ・長年に亘り取引を継続している顧客の満足度を高められるよう、更なる取引深耕を図ります。
- ・本年度も、個人貯金の残高確保を目的に、引き続き「全国統一キャンペーン」及び本県独自のキャンペーンを実施します。
- ・口座振替等総合的取引を推進する中で、特に「集まる貯金」である年金を、渉外専担者を中心に年金推進アプローチリストに基づく訪問推進を実施します。
- ・「年金友の会」の活性化のための企画協力と支援を行うとともに、年金に対する職員の知識習得を図り、よりきめ細やかな相談等のフォローができる推進活動を行います。

③貸出業務

- ・融資については、貸出金平残310億円を目標に、以下の取り組みを行います。
- ・漁協と各組合員及び地区内主要顧客の潜在的需要についてヒアリングし、漁協協力のもと戸別訪問により実情に即した個別提案型貸付の推進を行います。また、漁業近代化6号資金(種苗・餌料)について需要の掘り起こしを行います。

- ・漁協からの情報提供に基づき、漁協購買事業及び組合員の設備関連事業に対し、新規融資に積極的に取り組みます。
- ・オリコローン創設により、融資額及び融資期間の拡充を図り、組合員及び員外者の生活関連資金の貸付伸長を行います。

(2) 経営管理体制の整備・確立

① 県域健全性強化への取り組み

- ・「事業推進体制構築計画」に基づき、浜の接点確保と漁業金融機能の強化を図り、事業量確保に繋がる渉外活動に取り組みます。
- ・リスク管理債権等削減への取り組みとして、魚類養殖漁業者への与信管理と経営指導強化等を通じ、新たなリスク管理債権の発生抑制と既存のリスク管理債権の圧縮に努めます。
- ・信漁連店舗を中心に店舗機能を再構築し、金融機能の強化を図ります。
- ・愛媛県漁協指導協会と連携し、不振漁協の経営改善に取り組みます。

② 内部管理体制の充実

- ・コンプライアンス・プログラムを確実に実践することで、コンプライアンス態勢の更なる強化を図ります。
- ・適切な人事ローテーションと職場離脱を実施し、不祥事未然防止を図ります。
- ・内部監査を実施し、内部けん制機能の充実強化、リスク管理態勢の確立を図ります。

(3) 人材育成と協同意識の高揚

- ・集合研修、階層別の各種研修会や部署単位での勉強会の実施、通信教育の受講、人事管理等により人材育成に努めます。
- ・複雑化する金融業務に適正確実に対応するため、担当者の事務処理と役席者による検証のレベルを向上させます。
- ・組合員のための協同組織として、自らが利用する金融機関であること等を再認識してもらう「協同運動」しての推進活動を積極的に進めます。

(4) 協同体組織の機能強化

- ・組合員のための協同組織として、相談機能の充実強化に取り組みます。
- ・浜における金融機能の実情に配慮した店舗再編を図ります。

○ 地域活性化のための取組状況

漁業系統組織は、漁業者(組合員)が協同して経済活動を行い、相互の事業と暮らしの向上を図るだけでなく、協同組合原則の一つである「地域社会の発展のための貢献」を掲げ、国民への食糧供給者としての役割を担っています。

当連合会は、JFマリンバンクえひめイメージキャラクター「浜鯛長」の着ぐるみを県下イベント(愛南びやびやまつり、水軍レース大会など)に参加させ、地域住民との触れ合いや漁協女性部が作る水産加工品を通じて魚食普及に努め地域活性化に取り組みました。



3. 金融再生法開示債権(単体)

(単位:百万円)

	平成28年9月末	平成28年3月末	増 減
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	532	390	142
危険債権	9,596	9,037	559
要管理債権	1,785	1,785	0
不良債権合計	11,913	11,212	701
正常債権	19,423	17,780	1,643

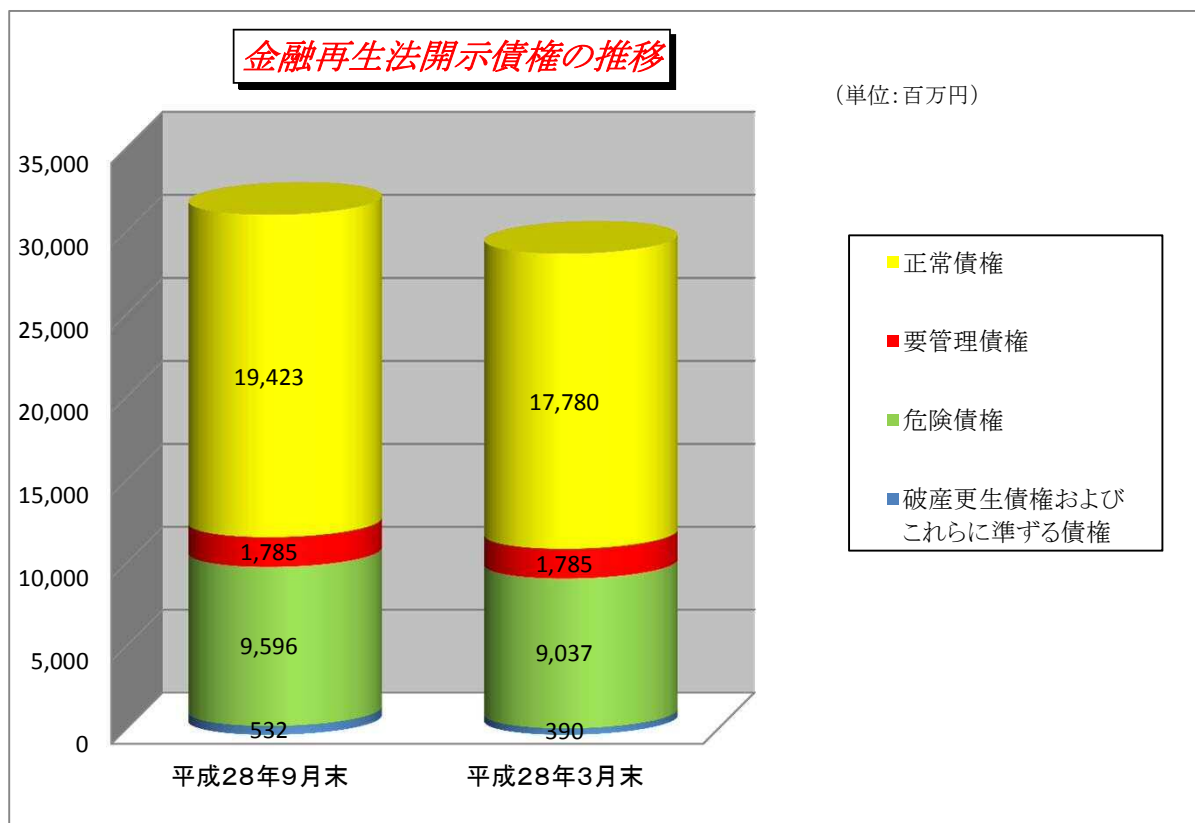
※平成28年9月末の債権額は次の方法により算定しています。

- ① 各債権額は平成28年3月末時点を基準として、対象債権残高を修正しています。
- ② 平成28年3月末以降に、債務者区分の変更が必要と認められる債務者については、9月末時点の対象債権残高を修正しています。

(注1)「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の理由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権です。

(注2)「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権です。

(注3)「要管理債権」とは、基本的には、「3ヵ月以上延滞債権」および「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。



4. 単体自己資本比率

平成28年9月末	平成28年3月末
21.86%	21.88%

5. 主要勘定残高の状況

(単位:百万円)

	平成28年9月末	平成28年3月末
貯 金	82,452	82,388
借 入 金	1,200	900
貸 出 金	31,283	28,943
預 け 金	52,753	54,336
有 価 証 券	—	—